

えびはら直矢市政報告

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323

E-mail. ebihara116@gmail.com https://www.ebihara-naoya.com/



2020年6号
2020.7.1

総額 7 億円 の追加事業が決定

6月30日、感染予防や子育て世帯の支援、事業者支援などを盛り込んだ補正予算が成立しました。

実現! 『政策フォーラム・市民の声あげお』として要望した内容の一部が補正予算に反映されました。

水道基本料金の免除

3 億 3580 万円



個人の場合

2800 円 → 0 円

個人と事業者を含むすべての利用者を対象に、4か月間水道基本料金の徴収を全額免除します。個人の利用者の場合、月700円の基本料金が8月の検針分から免除になります。

介護・障害者福祉サービス における感染症対策の強化

2015 万円



感染症対策の支援のため、高齢介護サービス・障害福祉サービスの事業所などに、一律5万円を支給します。

グルメ応援お食事券の発行

876 万円

市内飲食店の支援を目的とした商品券の発行を求めていましたが、プレミアム付きお食事券の増刷費を観光協会に補助するという形で実施されます。

2万枚が発行され、7月17日から1月11日まで販売されます（売切次第終了）。

7/17 より販売開始

■販売場所

お土産・観光センター

上尾市観光協会 プラザ 22



その他の事業はこちらからご確認ください。

さらなる支援の推進に向けて施策の提案



6月定例会最終日である6月30日、会派を代表して補正予算への賛成討論を行いました。

このなかでは、当初消極的だった水道料金の免除をはじめとした会派で要望を行った事業が実施に至ったことで、その決断を評価する一方で、特に事業者支援について予算上の都合から支援対象が一部に限られていることにより市民のなかで不平等感があることを指摘し、13億円が市に入る予定の国の地方創生臨時交付金を活用してこの不平等感を解消するさらなる支援を行うことを提案しました。

会派として提案した主な施策

事業者への感染症対策支援

主にサービス業の事業者に対し
感染症対策支援金の支給

市内企業の状況の調査

市内の企業などへの新型コロナ
の影響を市として独自に調査

就学援助臨時給付金の拡充

給付金の対象とならない5月以
降の申請者にも給付金を支給

政策フォーラム・市民の声あげお 第2回オンライン議会報告会

感染防止のため、Zoom を利用してのオンラインでの議会報告会となります。お申込みいただいた方には招待メールをお送りします。

8/22 土

午後1時から

ぜひご参加
ください!

お申込みはメールにて

▶ageoseisaku@gmail.com

※お名前（ニックネーム可）と当日のご連絡先をお知らせください。



質問
項目

- ①学校休業中の対応と子ども支援
- ②保育のあり方
- ③ダイバーシティ施策
- ④自然環境保護

今回の緊急事態措置下において、子どもや子育て世帯、外国人市民などに対して行った施策について、不十分であった部分について、市の見解や改善する意向があるかを中心に質問をしました。
今後新型コロナの第二波に襲われることを想定し、事前に支援の基盤を整えることを求めました。

保育所の登園自粛

保育所から過剰な自粛要請があれば対処を

質問

私立保育所の登園状況を確認し、**市として求める以上の自粛要請が為されていたと認められる場合には適切な指示を出す**ことも含めて対応をするべきだと考えるが見解は。

答弁

保育所などには、仕事等によりご家庭での保育が難しい方への保育の提供を妨げないよう通知しているが、もし**登園自粛を強いるような施設があれば、確認次第指導する**。

外国人市民への情報発信

広報あげおを活用した支援策の周知を

質問

広報あげお 6月号の多言語の紙面（『ハイレイツ』）には新型コロナに関連した**支援策の記事が全く掲載されていなかった**。情報が伝わるよう改善すべきと考えるが見解は。

答弁

『ハイレイツ』のコーナーは、通常裏表紙の裏の1ページを割いているが、**掲載記事が多くなる場合があれば対応することは可能**である。

その他の質問は、**上尾市議会スマート中継**をご覧ください。
<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/>

総務常任委員会

パートナーシップ制度の創設を求める請願を全会一致で採択

6月12日の総務常任委員会において、これまで一般質問でも問題提起をしてきた同性パートナーシップ制度について、レインボーさいたまの会から提出された制度の創設を求める請願が全会一致で採択、30日の本会議でも全会一致での採択となりました。請願の採択そのものも一つの前進であると言えますが、審議の過程で担当部署が明確ではないことなど取り組みが不十分であることを指摘し、**部署の明確化については市民生活部長から早期に検討をする旨の答弁**が得られたことも成果でした。
引き続き、制度の実施に向けて働きかけを行っていきます。



えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。

●上智大学法学部卒

●首都大学東京社会人類学教室修了。

国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わっている。2017年に上尾市議会議員に当選（現在2期目）。議会運営委員会副委員長、総務常任委員。

家族：妻、長男（4才）、長女（3才）、次男（2才）

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前

ご連絡先

ご意見